

国際交流・社会貢献等の概要

海外との協定等

ハワイ大学宗教学部との協力に関する共同声明 2002.9
両者間の教員・学生の交流、研究、企画、会議の継続的協力

中部イタリア神学学部との文化交流協定 2007.1
2005,2006年にお互いを公式訪問したことを機に文化交流を開始
教員・学生の受け入れ、ならびに宗教的文化の交流

国際学会・シンポジウムの開催

高野山国際密教学術大会 (ICEBS) 2006.9.5-8 (於高野山大学)
創立120周年記念事業として開催。「密教文化の歴史と展望」をテーマに、
アメリカ・イギリス・中国等をはじめ海外12カ国の密教・宗教研究者約250名
が出席。 ※記録誌(非売品)は図書館等でご覧ください。

付. 静名誉教授が尽力して設立した空海研究会(1988～福建省)では
2010.4「第1回中国密教国際学術シンポジウム」(於中国・西安)を開催。
同教授は1984年「空海・長安への道」訪中団団長として福州(赤岸鎮)から西安
(青龍寺)までの2400キロを踏破。1988年に空海研究会を福州に設立。
2004「空海と日中文化交流国際学会」(上海・復旦大学)の開催にも尽力。
(日本人発表者の論文は『弘法大師空海と唐代密教』として公刊)

国際交流事業・海外調査 等

チベット・バングラデシュの海外学術調査
空海・長安への道 福州から西安を踏破
イタリア・カトリック教の神父等との異文化交流
外国人研究者招聘による研究会・講演会等
学生参加型の交流事業について、近年は、大学主催によるものよりも、現地とのコネクションを有する教員が、印度・唐・西藏・糸綢之路(シルクロード)などの呼称で馴染み深い地域に密教・マンダラ・書道等の調査・研究・見学で赴く場合に、学生を募集。

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を構成する高野山、その歴史・文化等を研究・発信していくことも、国際交流につながるものとして教育・研究に取り組んでいます。

社会貢献活動

各種生涯学習講座、21世紀高野山医療フォーラム、伝統教学復興プロジェクト など
各事業の告知はHP、各事業記録はHP情報公開の各年度事業報告書を参照のこと。
教育・研究機関として、在学生のみならず、広く社会に生涯学習の機会を提供すること、社会に資する研究についてその成果を流布していくこと、先人より受けついで文化についてその価値を再確認して継承・発展させていくことを大切な使命と心得て、各種の講座を開催しています。

大学間連携

コンソーシアム和歌山
和歌山県下の高等教育機関が連携して各種事業を実施しています。
<http://www.consortium-wakayama.jp/>

過年度実績(一部)

和歌山大学が代表となって県下高等教育機関が連携した「大学改革推進等補助金戦略的・大学連携支援事業 観光を主軸とした知の拠点形成のための戦略的・大学連携」に参画。(H20～22年度)
京都・嵯峨芸術大学との間で両部曼荼羅制作にかかる共同研究。(H20～H22)

産学官連携

和歌山県立医科大学が代表となった「平成20年度低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業」に参加(H20)しましたが、本学独自に産業界と連携した企画はありません。(2011.9現在)